



## 2. ご使用になる前に安全上のご注意 必ずお読みください

### (1) 本製品で使用できる光ディスクについて

本製品で使用できる光ディスクは、下記のロゴマークの入ったDVD(DVD-video、DVD-R/RW)、CD(音楽CD、CD-G、CD-R/RW)です。



また、DVD-Rに収録した音楽(MP3)、動画(MPEG1、2、4)、画像(JPEG)データを再生可能です。(動画と画像の再生には、テレビモニタへ接続する必要があります。)



**以下の光ディスクは絶対に再生させないでください。**

○円形以外のDVD、CD、CD-R/RW(ハート形、名刺形など)

※上記のものを再生すると、回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させる恐れがあります。

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク(ver1.1)、DVD-Rディスク(ver.2.0)は再生可能です。(ビデオクリップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません。)

※DVD-RW・DVD-Rはディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

※DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が決められています。再生するディスクに、本製品のリージョンコード「2」または「ALL」が記載されていないディスクは再生できません。

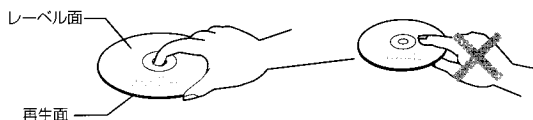
※本製品ではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD-audioは再生できません。

### ●光ディスク取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

### ●持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



### ●お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。

レコードのように円状に拭かないでください。

※市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。



鑑賞し終わった光ディスクは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

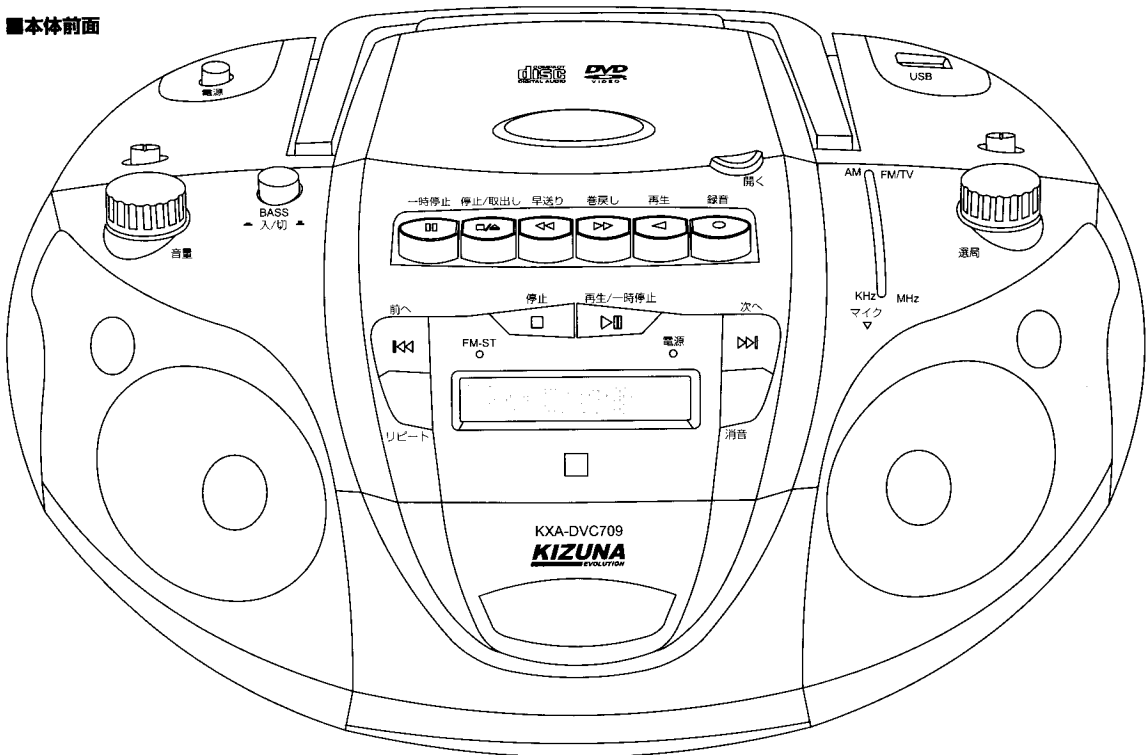
### (2) 本製品で使用できるUSBメモリについて

本製品では、USB 1.1、2.0/USB Mass Storage Classの規格に準拠したUSBメモリを接続し、内部のデータを再生することができます。規格外のメモリは本製品に接続しないでください。メモリ内のデータの破損や、メモリ・本製品の故障の原因となります。

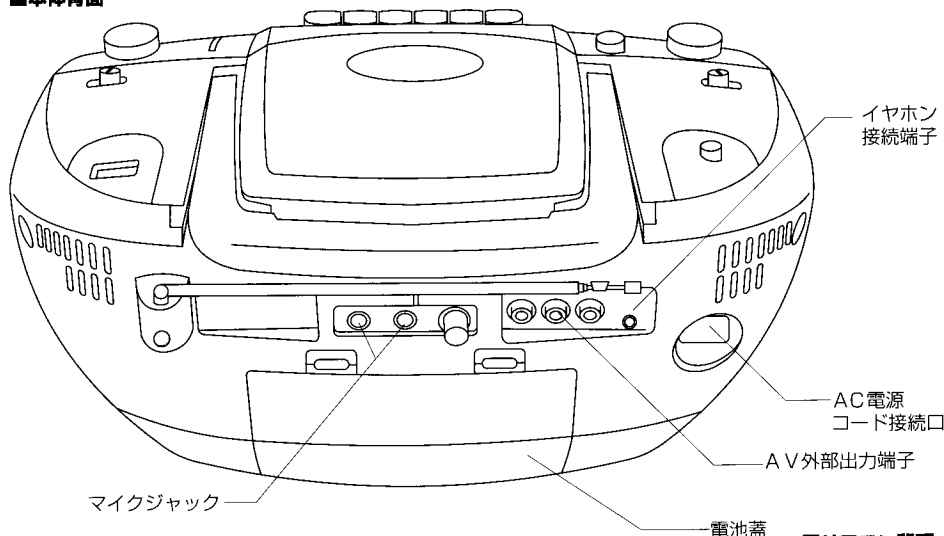
**(4) 本製品各部の名称および付属品**

本製品と付属品は下記の通りです。不足しているものが無いか確認してください。

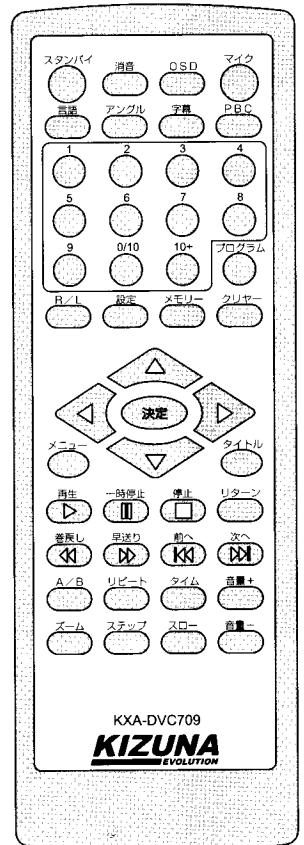
**■本体前面**



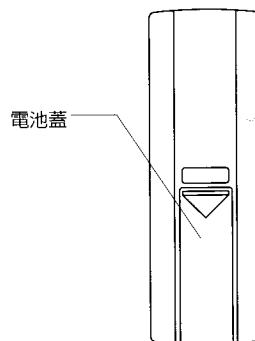
**■本体背面**



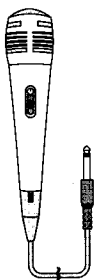
**■リモコン前面**



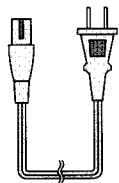
**■リモコン背面**



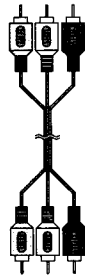
**■マイク**

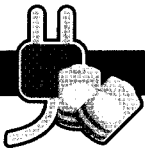


**■AC電源コード**



**■AV接続コード**

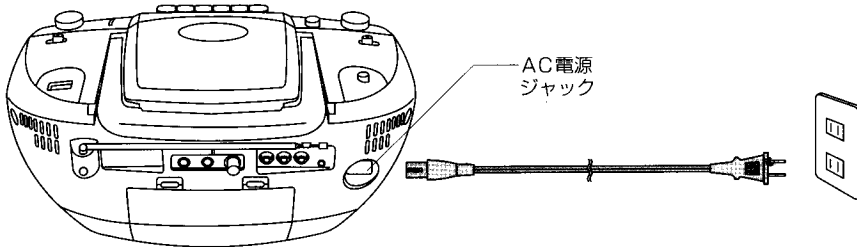




### 3. 電源 / テレビモニタとの接続と初期設定

#### 電源の接続 (家庭用電源を使う場合)

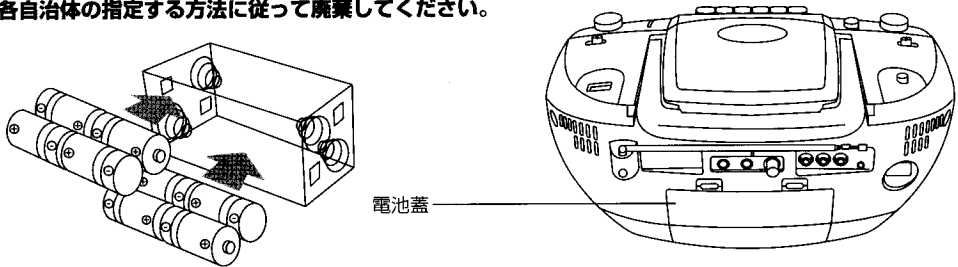
AC電源コードを背面ジャック部に挿し込み、コンセントに接続します。交流100Vのコンセントのみ使用できます。  
※交流100V以外の電源を使用しますと故障の原因となります。



光ディスクやUSBメモリ内のデータを再生中に電源コードを抜き差しすると誤作動し、故障の原因となりますのでご注意ください。  
※正常に動作しなくなった場合は、電源をすぐに接続せずに数分間放置してから使用すると直る場合がございます。  
※長時間使用しない場合は電源コードを抜いてください。

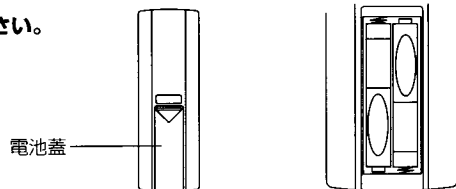
#### 電源の接続 (電池を使う場合)

単1型アルカリ乾電池8本を使用します。本体背面下部の電池蓋を外し、底面の図のように2列2段で電池をセットします。  
※電池はバネがついている方にマイナス極をあてるようにセットします。  
※使用済み電池は、各自治体の指定する方法に従って廃棄してください。



#### リモコンの電池のセット

リモコンに使用する電池は単4型アルカリ乾電池2本です。リモコンの背面、下部の電池蓋をはずし、図のように電池をセットします。  
※使用済み電池は、各自治体の指定する方法に従って廃棄してください。

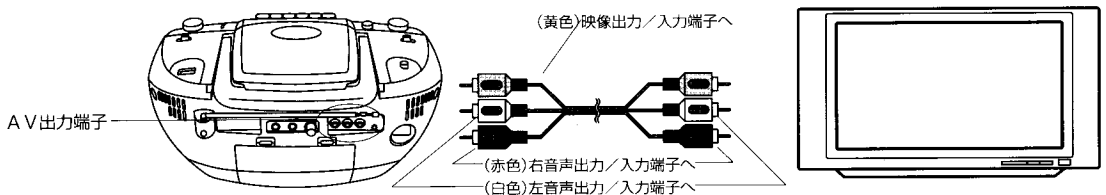


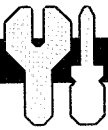
正しく方向をセットしないと、電池が液漏れや破裂を起こす危険がありますのでご注意ください。  
※長期間使用しない場合は電池を外しておいてください。電池が装着されたままですと、使用しない場合でも電池が消耗します。



#### テレビモニタとの接続

DVDや、DVD-R、USB内の動画や静止画を視聴する場合、本体背面のAV出力端子とテレビモニタのAV入力端子を付属のAVケーブルで接続します。  
※CDやMP3など、音楽データの再生時にも、テレビモニタを接続するとより簡単に操作することができます。

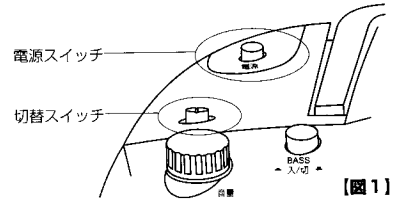




## 4. 初期設定

### テレビモニタの設定

前ページの電源の接続、AVケーブルの接続を行ったあと、本体上面右側にある電源スイッチを押して電源をONにします。  
切り替えスイッチを「DVD」に合わせます。(【図1】)



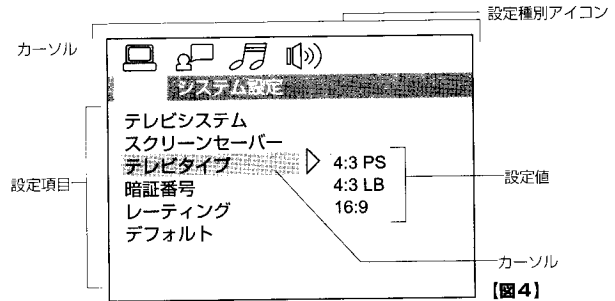
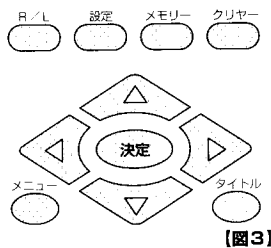
テレビモニタの電源を入れて、「外部入力」(ビデオ入力等、名称は製品によって異なりますので、不明な場合はテレビモニタの説明書を参照してください。)に切り替えます。

テレビモニタ画面にロゴマークが表示されます。(【図2】)  
※画面がモノクロであったり、「DVD」のロゴが中央に表示されず、画面の一部が切れている場合は、テレビモニタの設定をする必要があります。



テレビモニタの設定をするには、リモコンの「設定」ボタンを押します。(【図3】)  
※リモコンは本体中央の受光部に向けて操作してください。

設定画面が表示されます。(【図4】)



項目間は、リモコンの十字ボタンで移動できます。

設定項目を選択するには「▲」「▼」ボタンを押します。設定値側にはカーソルを移動させるには、「▶」ボタンを押すか、「決定」ボタンを押します。設定値を選択するには「▲」「▼」ボタンを押してカーソルを移動させ、「決定」ボタンを押します。

※設定種別を移動するには、「▲」ボタンを押してカーソルを一番上へ移動させ、「◀」「▶」ボタンで設定種別を選択します。

### 設定項目一覧

システム設定		言語設定	
テレビシステム	モニタ表示方式 (NTSCのみ)	画面表示言語	システムの言語の設定 (英語/日本語)
スクリーンセーバー	画面焼き付き防止の設定	オーディオ言語	DVD再生時の音声言語の初期値 (8カ国)
テレビタイプ	モニタの表示の縦横比 (4:3PS/4:3LB/16:9)	字幕言語	DVD再生時の字幕言語の初期値 (8カ国/オフ)
暗証番号	視聴年齢を制限する際に設定	メニュー言語	メニュー言語の初期値 (8カ国)
レーティング	DVDに設定されている視聴推奨年齢 (R18など) に応じて視聴レベルを設定。		
デフォルト	設定を初期化		
オーディオ設定		スピーカー設定	
マイク設定	マイクのON/OFF	ダウンミックス	ステレオ (初期値) (LT/RT・ステレオ)
キー	再生音声のキーを設定		

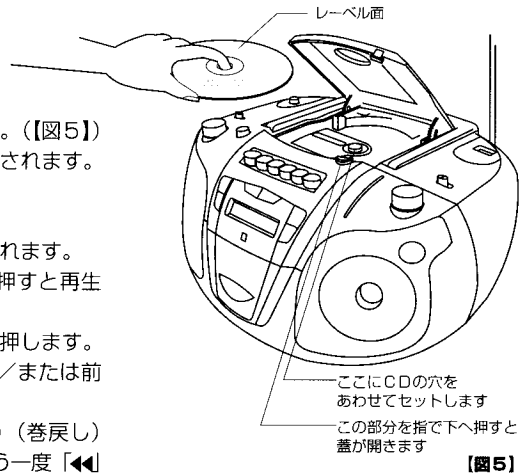


## 5. DVD-videoを視聴するには

### 再生するには

DVD-videoを視聴するには、下記の手順で操作してください。

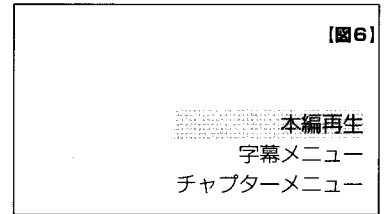
- ①電源の接続、および本体とテレビモニタを接続します。
- ②電源スイッチを押して電源を入れます。
- ③切り替えスイッチを「DVD」に合わせます。
- ④光ディスク蓋の右隅にある「開く」ボタンを押し、光ディスク蓋を開けます。(【図5】)  
※このとき、画面と本体LCDディスプレイに「OPEN」の文字が表示されます。
- ⑤DVD-videoのディスクをセットし、蓋を閉じます。  
自動的に読み込みが始まり、再生が始まります。  
※このとき、画面と本体LCDディスプレイに「LOAD」の文字が表示されます。  
※停止した状態からは、本体前面の再生ボタン、リモコンの再生ボタンを押すと再生が始まります。  
※再生を停止するには、本体前面の停止ボタンか、リモコンの停止ボタンを押します。  
※再生中、本体前面またはリモコンの「◀▶」ボタンを押すことで、次/または前のチャプター(下記に詳述します)へ移動することができます。  
※再生中に「◀▶」ボタンを押すと2倍、4倍、8倍、20倍で早送り(巻戻し)再生ができます。早送り(巻戻し)再生を解除するには、20倍の時点でもう一度「◀▶」ボタンをおします。



【図5】

### メニューの操作(言語/字幕の切り替え等)

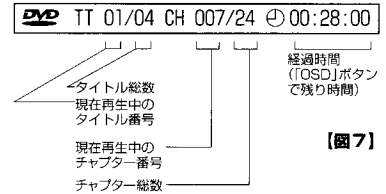
DVD-videoによっては、音声や字幕の言語を切り替えることができます。リモコンの「タイトル」または「メニュー」ボタンを押すと、【図6】のようなメニュー画面になります。(※メニュー画面の内容は各DVDによって異なります。各DVDに説明書がある場合は、それを参照してください。)  
リモコンの方向ボタンを使い、カーソルを移動させ、設定したい項目にあわせて「決定」ボタンを押します。  
本編を再生するには「本編再生」などを選択して「決定」ボタンを押します。



【図6】

### チャプターサーチ

また、多くのDVD-videoでは、本編をいくつかの「チャプター」で分けており、見たい場面を探すのに利用することができます。  
本編再生中に、「タイム」ボタンを押すと【図7】のように、現在までの経過時間(「OSD」ボタンを押すことで残り時間に切り換えられます)とタイトル、チャプター番号が画面上部に表示されます。  
再生中、テンキーで直接番号を入力すると、チャプターをスキップできます。  
※1~9は番号を直接押します。10は、「0/10」ボタンを押します。  
10以上は、「10+」ボタンを押してから、1の位の数字を押します。  
20以上の数字を入力するには、「10+」ボタンを複数回押してから、1の位の数字を入力します。



【図7】

### その他の操作

DVD-video再生時、リモコンのボタンで次のような操作ができます。

スタンバイ	電源をスタンバイ状態	R/L	無効	メニュー	メニュー画面表示	リピート	リピートパターンの選択(p9)
消音	音を一時的に消音	プログラム	プログラム再生(p8参照)	タイトル	タイトル画面表示	タイム	【図7】のバーを表示
OSD	残り時間を表示	メモリー	無効	再生	再生	音量+/-	音量コントロール
マイク	マイク設定の有効/無効	クリアー	無効	一時停止	一時停止	ズーム	拡大再生
言語	再生言語の切替	設定	諸設定(p6参照)	停止	予備停止/停止	ステップ	コマ送り再生(ボタンをおすこと)
アングル	視野角度(DVDソフトが対応しているもののみ)	方向ボタン	カーソル移動	リターン	最初のチャプターへ	スロー	スロー再生
字幕	字幕言語の切替	決定	カーソル項目の選択	巻戻し/早送り	早送り(巻戻し)再生		
PBC	無効			前へ/次へ	チャプター移動		
1~10+	チャプタースキップ			A-B	区間指定リピート(p9)		

※ご利用にならない時は、本体左上の電源ボタンで電源をOFFにしてください。長時間でご利用にならない場合は電源コードをコンセントから外してください。



## 6. 音楽CDを再生するには

### 再生するには

- ①前ページ①～⑤の同じ手順で、CDをセットします。(【図5】)
- ※音楽CDを再生する時は、テレビモニタに接続しなくても操作できます。ただし、プログラム(後述)再生を設定する時はテレビモニタが必要です。
- ※CD再生中、モニタおよびLCDディスプレイにトラック数、再生経過時間などが表示されます。(【図8】)
- ②自動的に再生が始まります。
- ※このとき、画面と本体LCDディスプレイに「LOAD」の文字が表示されます。
- ※停止した状態からは、本体前面またはリモコンの再生ボタンを押すと再生が始まります。
- ※再生を停止するには、本体前面またはリモコンの停止ボタンを押します。
- ※再生中、本体前面またはリモコンの「⏮」「⏭」ボタンを押すことで、次ノまたは前のトラックへ移動することができます。
- ※再生中に「⏮」「⏭」ボタンを押すと2倍、4倍、8倍、20倍で早送り(巻戻し)再生ができます。早送り(巻戻し)再生を解除するには、20倍の時点でもう一度「⏮」「⏭」ボタンをおします。

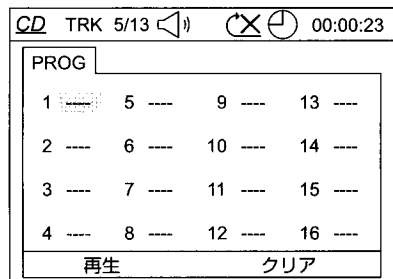


【図8】

### プログラム再生

あらかじめ再生するトラックの順番を任意で設定することができます。(DVD-videoやMP3でもプログラム再生を行うことができます。)

- ①リモコンの「プログラム」ボタンを押すと、テレビモニタに【図9】の画面が表示されます。カーソルが「1」の隣にあることを確認し、1番目に再生したいトラック番号をリモコンの数字ボタンで入力します。
- ※1～9の数字を入力する場合はその数字のボタンを、二桁の数字を入力する場合は、十の位の数字ボタンをまず押し、次に一の位のボタンを押します。(例：12の場合は、「1」を押し、次に「2」を押します。)
- ②2番目に再生したいトラック数を入力するには、方向ボタンでカーソルを動かして合わせ、①の手順と同様に数字を入力します。
- ③入力が終わったら、カーソルを「再生」に合わせて「決定」ボタンを押します。全部の入力内容を消去するには、「クリア」に合わせて「決定」ボタンを押します。



【図9】

### トラックサーチ

再生中に、「時間」ボタンを押すと【図8】のように、現在までの経過時間(「OSD」ボタンを押すことで残り時間に切り換えられます)とトラック番号が画面上部に表示されます。

「⏮」「⏭」ボタンでカーソルをチャプター数に移動させ、テンキーで数字を入力して「決定」ボタンを押すと、入力された番号のトラックへスキップできます。

※再生中、テンキーで直接番号を入力しても、トラックをスキップできます。

1～9は番号を直接押します。10は、「0/10」ボタンを押します。

10以上は、「10+」ボタンを押してから、1の位の数字を押します。

20以上の数字を入力するには、「10+」ボタンを複数回押してから、1の位の数字を入力します。

### その他の操作

CD再生時、リモコンのボタンで次のような操作ができます。

スタンバイ	電源をスタンバイ状態	R/L	ステレオ/右/左 スピーカ切替	メニュー	無効	リピート	リピートパターンへの選択 (p9)
消音	音を一時的に消音	プログラム	プログラム再生	タイトル	無効	タイム	【図9】のバーを表示
OSD	残り時間を表示	メモリー	無効	再生	再生	音量+/-	音量コントロール
マイク	マイク設定の有効/無効	クリアー	無効	一時停止	一時停止	ズーム	無効
言語	無効	設定	諸設定 (p6参照)	停止	予備停止/停止	ステップ	無効
アングル	無効	方向ボタン	カーソル移動	リターン	無効	スロー	無効
字幕	無効	決定	カーソル項目の選択	巻戻し/早送り	早送り(巻戻し)再生		
PBC	無効			前へ/次へ	トラック移動		
1~10+	トラックスキップ			A-B	部分指定リピート (p9)		

※ご使用にならない時は、本体左上の電源ボタンで電源をOFFにしてください。長時間ご使用にならない場合は電源コードをコンセントから外してください。

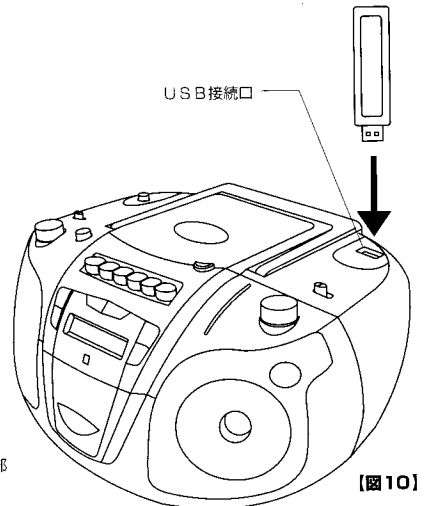
## 再生するには

本製品では音楽データであるMP3、動画データであるAVI、静止画データであるJPEGの各ファイルを再生することができます。

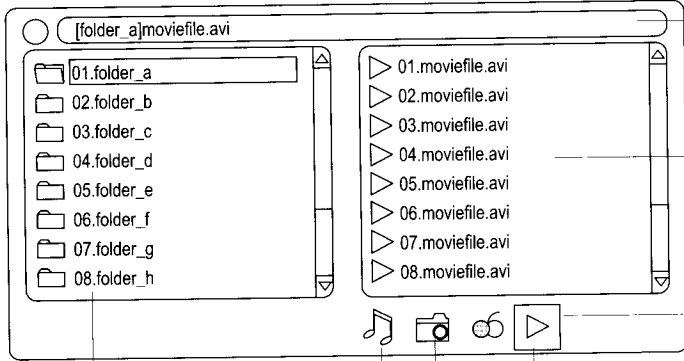
USBメモリ、DVD-R/CD-Rに収録されたデータを再生可能です。

- ①電源の接続、および本体とテレビモニタを接続します。
- ②電源スイッチを押して電源を入れます。
- ③切り替えスイッチを「DVD」に合わせます。
- ④USBメモリを、USBコネクタの向きに注意して、接続口に差し込みます。(【図10】)  
DVD-R、CD-R内のデータを再生する場合は、光ディスク蓋の右隅にある「開く」ボタンを押し、光ディスク蓋を開けます。(【図5】)
- ⑤ファイル操作画面が表示されます(【図11】)。

USB接続口



【図10】

現在再生中の  
ファイル

ファイル表示部

【図11】

フォルダ表示部

動画アイコン

静止画アイコン  
音楽アイコン

カーソルで選択されたアイコンの種類のみ表示されます  
※メディアに収録されていないデータの種類のアイコンは選択できません。

⑥まず、再生したいファイルの種類アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

※フォルダ表示部、ファイル表示部、アイコン部はそれぞれ、横向き方向ボタンで移動できます。

⑦次に、再生したいファイルが含まれているフォルダを選択し、「決定」ボタンを押します。(音楽データの場合、フォルダに含まれるファイルの先頭から再生が始まります。)最後に、ファイルを選択し、「決定」ボタンを押します。

※プログラム再生も行うことができます(8ページ参照)。その場合は、すべてのフォルダにあるファイルを通し番号を指定します。

## 繰り返し(リピート)再生

ファイル(トラック)ごと、フォルダごと、全体について、また、曲内の指定した部分のみを自動的に繰り返し再生することができます。

## ■曲ごと/フォルダごと/全体のリピート

リモコンの「リピート」ボタンを押します。1回押すと再生中の曲を、2回押すとフォルダ内の曲を、3回押すと全体をリピートする設定になります。4回目でリピートが解除されます。

(音楽CD、DVD-videoの場合は、2回目で全体のリピートになり、3回目で解除されます。)

## ■指定部分のみのリピート

楽曲、ビデオを再生中、繰り返し再生したい部分が始まったら、リモコンの「A-B」ボタンを押します。次に、繰り返し再生したい部分の終わりでもう一度「A-B」ボタンを押します。

1回目に「A-B」ボタンを押した所から、2回目に「A-B」ボタンを押した部分までが繰り返し再生されます。

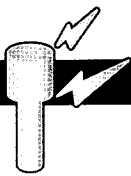
解除するには、もう一度「A-B」ボタンを押します。

## その他の操作

データ再生時、リモコンのボタンで次のような操作ができます。

スタンバイ	電源をスタンバイ状態	R/L	ステレオ/右/左 スピーカ切替	メニュー	無効	リピート	リピートパターン選択
消音	音を一時的に消音	プログラム	プログラム再生 (p.8参照)	タイトル	無効	タイム	経過時間/再生ファイル番号の表示
OSD	経過/残り時間を表示	メモリー	無効	再生	再生	音量+/-	無効
マイク	マイク設定の有効/無効	クリアー	無効	一時停止	一時停止	ズーム	無効
言語	無効	設定	諸設定 (p.6参照)	停止	予備停止/停止	ステップ	無効
アングル	無効	方向ボタン	カーソル移動	リターン	無効	スロー	動画再生時スロー再生
字幕	無効	決定	カーソル項目の選択	巻戻し/早送り	早送り(巻戻し)再生		
PBC	無効			前へ/次へ	トラック移動		
1~10+	トラックスキップ			A-B	部分指定リピート		

※ご使用にならない時は、本体左上の電源ボタンで電源をOFFにしてください。長時間ご使用にならない場合は電源コードをコンセントから外してください。



## 8.ラジオを聞くには

- ①電源を入れ、切替スイッチを「ラジオ」に合わせます。
- ②ラジオバンド切替スイッチを、「FMST.(FMステレオ)」・「FM」・「AM」いずれか任意の位置に合わせます。
- ③選局ツマミで、お聴きになりたい放送局の周波数に調整してください。  
ツマミの左にあるラジオ周波数目盛が目安になります。  
左側がAM、右側がFMの周波数の目盛りです。(【図12】)

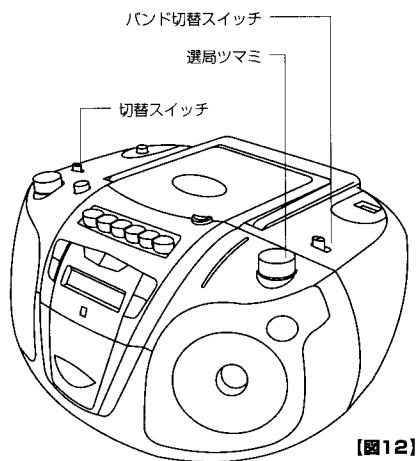
※FMの周波数で、100MHz以上は、日本国内ではTV(1~3ch)の周波数になります。

※FM放送、およびTVの音声を聴くときは、本体後部にあるアンテナを伸ばし、より良く聞こえる向きに調整してください。(【図13】)

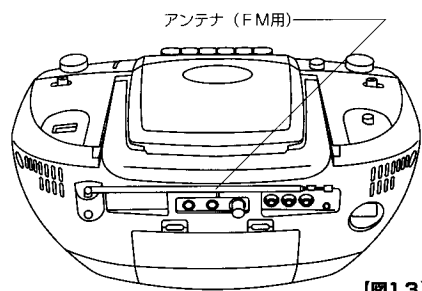
※AM放送を聴くときは、本体の向きをより良く聞こえるように調整してください。  
(AM用のアンテナは本体に内蔵されています)

※テレビの近くでAMラジオを受信すると雑音が入ったり、テレビの映像が乱れることがあります。

また、携帯電話のそばでAMラジオを受信すると雑音が入り、音質が低下します。  
このような時は、本製品をそれらの機器から離してご使用ください。



【図12】



【図13】

### ■ヘッドホンの使い方について

本製品では音声を、3.5φヘッドホンやイヤホンでお聴きになることができます。

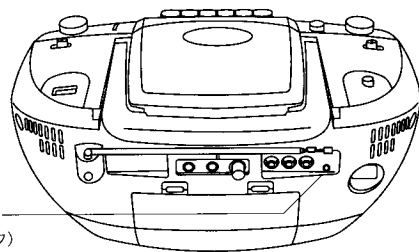
ヘッドホンは本体背面のヘッドホンジャック差込口に接続してください。

※ヘッドホンをご利用になるときは、音量に注意してください。

※ヘッドホンのジャックの規格は数種類あり、本製品に接続できない場合があります。その場合は3.5mmのステレオミニジャックのヘッドホンをお求めいただくか、変換アダプタをお求めください。

※ヘッドホンは別売りです。

ヘッドホンジャック差込口  
(3.5mmステレオミニジャック)



### ■低音強調について

本機はラジオや音楽、動画の音声を低音を強調して再生することができます。

本機の「BASS」ボタンを押して下さい。

ボタンが押し下げられた状態で、低音強調が有効になります。

解除するにはもう一度「低音」ボタンを押してください。

ボタンが上に上がった状態で低音強調は解除されます。

通常音質

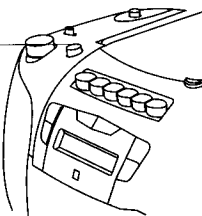


BASS  
入/切

低音強調



BASS  
入/切



### ■アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上アナログ放送は、2011年7月に終了いたします。本機ラジオでのTV受信は、デジタル放送へ対応しておりませんので2011年7月より受信出来なくなりますので、予めご了承ください。

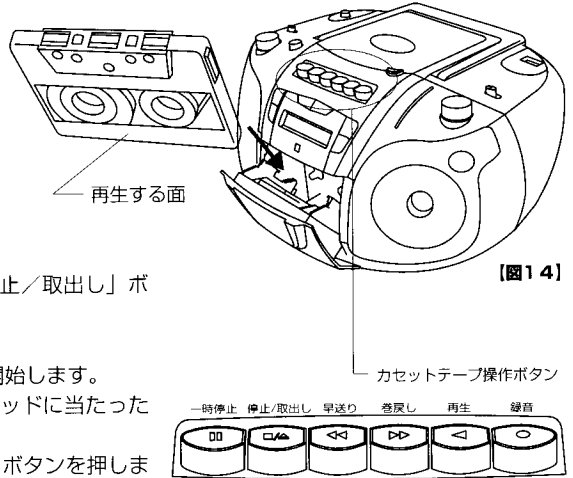




## 9. カセットテープを再生／録音するには

### 再生するには

- ①電源コードをつないでいるか、電池がセットされていることを確認してください。
  - ②切替スイッチを「テープ」に合わせます。
  - ③カセットテープ操作部の「停止／取出し」ボタンを押してカセットテープ蓋を開き、カセットテープをセットします。このとき、再生したい面を手前に、テープ面が上になるようにセットします。  
〔図14〕
- ※あらかじめテープのたるみをとってセットしてください。

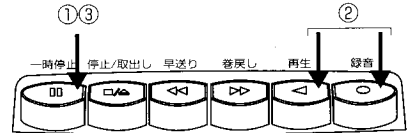


〔図14〕

- ④カセットテープ蓋を閉じ、「再生」ボタンを押します。
- ※停止するには「停止／取出し」ボタンを1回押します。  
 ※カセットテープを取り出すには、テープが停止している状態で「停止／取出し」ボタンを押し、カセットテープ蓋をあけてテープを取り出します。  
 ※また、一時停止したい場合は、「一時停止」ボタンを1回押します。  
 もう一度「一時停止」ボタンを押すと一時停止した場所から再生を開始します。  
 ※一時停止ボタンを押したまま長い時間放置すると、テープが磁気ヘッドに当たったままとするため、録音内容が劣化します。  
 ※早送りするには、テープが停止した状態で、「早送り」／「巻戻し」ボタンを押します。ボタンを解除するには停止ボタンを押します。

### 録音するには

- ※下記を参照して、録音するカセットテープのツメが折れていないか確認します。  
 ※あらかじめ録音したい部分を頭出ししておきます。(テープの両端にあるリーダー部分には録音できません。※下記参照)
- ①カセットテープをセットし、一時停止ボタンを押します。そのあと、録音ボタンと再生ボタンを一緒に押します。※この時点ではまだ録音は開始されていません。
  - ②切替スイッチを、ラジオを録音したい場合は「ラジオ」に、音楽CDなどを録音したい場合は「DVD」に合わせます。
  - ③一時停止ボタンを押して解除します。録音が始まります。
  - ④音楽CDなどをスタートさせます。(CDの場合は8ページ、DVDの場合は7ページ、その他の音声データの場合は9ページ、ラジオの場合は10ページを参照してください)  
 ※本体前面にある内蔵マイクや、カラオケ(12ページ参照)用マイクからも録音することができます。
  - ⑤録音を終了するには「停止／取出し」ボタンを押します。



〔図15〕

### カセットテープの取扱について

#### ■再生／録音できるテープの種類

本製品で再生／録音できるテープの種類は右表のとおりです。(〔図16〕)  
 ※90分以上のテープは薄く、変形しやすく、巻き込みなどの原因となる為、使用しないでください。

	ノーマル (TypeI)	ハイポジション (TypeII)	メタル (TypeIV)
再生	○	○	×
録音	○	×	×

〔図16〕

#### ■カセットテープのたるみを取る

再生前にカセットテープがたるんでいる場合は鉛筆などを用いて、図のようにたるみをとってください。たるんだままセットし再生させると、テープがローラーに巻き込まれてテープや本体が破損する恐れがあります。

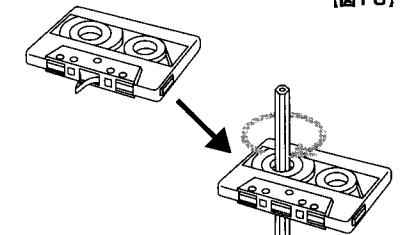
#### ■リーダーテープについて

カセットテープの両端数秒分はリーダーテープ(透明や白など)になっており、この部分には録音ができません。録音する場合はあらかじめこの部分を巻き取ってください。

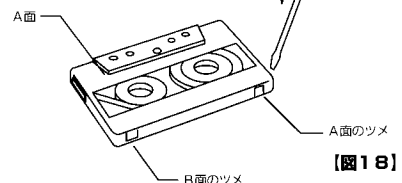
#### ■録音したテープの保護

録音を保存しておきたい場合は、カセットテープの底面(テープ露出部の反対側)にあるツメを折っておくと、上書き録音を防止することができます。(ツメを折っておくと録音ボタンが押せません。無理に押すと故障の原因となりますのでご注意ください。)

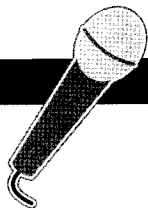
また、もう一度録音したい場合はツメを折った部分をセロハンテープなどでふさいでください。



〔図17〕

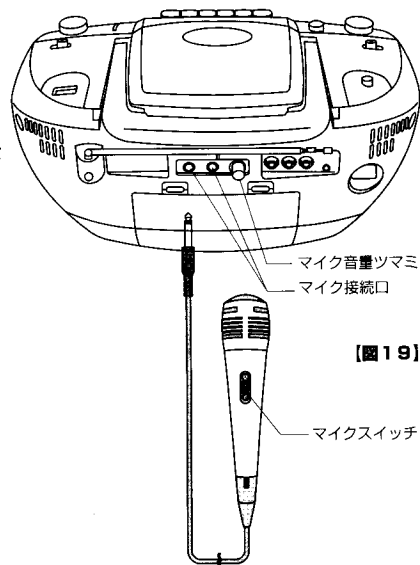


〔図18〕

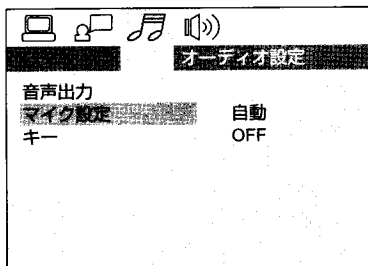


## 10. カラオケを楽しむには

- ①マイクを本体背面にあるマイク接続口に接続します。(【図19】)
- ②電源を入れ、切替スイッチを「DVD」に合わせます。  
※「テープ」「ラジオ」ではマイクが有効になりません。  
※CD-G形式のディスクに対応しています。
- ③リモコンの「設定」ボタンを押します。設定画面が表示されますので、6ページを参照して「オーディオ設定」画面に切り換えます。(【図20】)  
「マイク設定」が「自動」になっているかどうか確認します。  
※マイク音量は本体背面のマイク音量ツマミで調節できます。
- ④7ページ～9ページを参照して、演奏を開始します。
- ⑤カセットテープに録音する場合は、11ページを参照してください。



【図19】



【図20】



## 11. お手入れ方法

### ■本体のお手入れ

本体は柔らかい乾いた布でほこりを拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、布を中性洗剤を薄めた水にひたし、固く絞ってからふいてください。

シンナーやアルコールなどは変色、変形の恐れがあるため使用しないでください。

※各端子部、メモリのコネクタやスロット部に水が付着しないように注意してください。これらの部分は埃を掃除機などで吸い取ってください。

### ■カセットテープ収納部のヘッド、ローラーのお手入れ

カセットテープを再生し続けていると、ヘッドやローラーに汚れがたまったり、ヘッドが磁化されて音質が低下したり、録音がうまくできなくなることがあります。

市販のクリーニング液やカセットテープタイプのクリーニングキットをお求めいただき、定期的にお手入れをしてください。

クリーニング液を使用する場合は、綿棒に液をひたし、ローラーとヘッドの汚れを拭き取ります。

※クリーニング液や湿式のクリーニングキットを使用した場合は、ヘッドやローラーが乾くまでテープを使用しないでください。

### ■光ディスクレンズのお手入れ

レンズにほこりや指紋がついて汚れると、音飛びしたり、うまく再生できなくなることがあります。

#### ●ゴミやほこりがレンズについている場合

市販のプロワーでレンズを数回吹き、プロワー先端のブラシでゴミを掃き出します。最後にもう一度、プロワーでレンズを吹きます。

#### ●指紋などがついていない場合

プロワーで汚れがとれない場合は、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外へ向かって円を描くように拭いてください。

※レンズクリーナー液はつけすぎないでください。また、液が本体内部へこぼれおちないように注意してください。

※プロワーや綿棒をレンズに強くおしつけないでください。故障の原因となります。



## 12.故障かな?と思ったときは

症 状	想定される原因	対 策
●動作しない	電源コードが抜けていませんか?	電源コードを差し込みます
	電池が消耗していませんか?	電池を新品と交換してください
	電池の向きが間違っている	電池を正しくセットしてください
●DVD、CDが再生されない	DVD、CDが裏返しに入っている	レーベル面を上にしてセットしてください
	対応していないメディアである	対応メディアに交換してください
	結露が生じている	電源を外し、約1時間放置しその後再度電源を投入し、操作をしてください
●DVD、CDの映像や音が途切れる	切替スイッチが「DVD」になっていない	切替スイッチを「DVD」にする
●操作ボタンを押しても反応しない	レンズが汚れていませんか?	レンズを清掃する(12ページ参照)
	DVD、CDが汚れている、キズがついている	DVD、CDの汚れ、キズを拭き取ります(3ページ参照)
●音が出ない	再生中に電源を抜くなどしませんでしたか?	電源を外し、数分間おいてから使用してみてください
	ヘッドホンが接続されている	ヘッドホンを外してください
●録音ができない/ 録音した音質が悪い	テープがたるんでいませんか?	テープを正常に巻き取って下さい(11ページ参照)
	カセットテープの誤消去防止ツメが折れていませんか?	誤消去防止ツメにゼロハンテープを貼る または新品のテープを利用する
	電池が消耗していませんか?	AC電源を接続して録音してください(5ページ参照)
	ヘッドが汚れていませんか?	ヘッドを清掃する(12ページ参照)
●テープの再生音にノイズが入る	テープが伸びていませんか?	新しいテープと交換する。
●テープの再生にムラがある	使用環境によって(ビルの中など)はラジオがうまく受信できない場合があります。	
●ラジオにノイズが入る/ 受信できない	また、携帯電話など電子機器を近くで使っているとノイズが入る場合があります。	
	周波数がずれている	選局ツマミで周波数を調整してください。
	本製品の向きが合っていない(AM受信時)	感度の良い方向へ本製品の向きを合わせてください
●マイクの音が出ない	マイクが正しく接続されていない	マイクを正しく接続してください(12ページ参照)
	マイクのスイッチが入っていない	マイクのスイッチを入れてください(12ページ参照)
	マイクの音量が小になっている	マイクの音量を調節してください(12ページ参照)

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。

該当する項目がない場合、または対策を試しても治らない場合は、販売店にご相談ください。

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内は…

お客様相談室  
フリーダイヤル

**0120-335-625**

受付時間 日曜、祝日除く月曜～土曜 AM9:00～PM6:00



## 13.アフターサービスについて

### 1. 保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管して下さい。保証期間はお買上げ日より1年間です。

### 2. 修理を依頼される時

※保証期間中は商品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参下さい。保証書の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

### 3. 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年間です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 4. アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、お買上げ販売店にお問い合わせ下さい。

#### 《無料保証規定》

1. 通常のご使用により、万一、材質上または構造上の欠陥が生じた場合、お買上げ店が当社お客様相談室までお申し出下さい。無償で新品交換または修理します。
2. 後転居、ご贈答品で修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してありますお客様相談室か各販売店へご相談ください。
3. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
  - ① 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - ② お買上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
  - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - ④ 業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  - ⑤ 本書の提示がない場合。
  - ⑥ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買上げの販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承りますので、当社お客様相談室までお問い合わせください。



## 14.仕様表

サイズ	約W370×H170×D270 mm	消費電力	23W
重量	約2.5kg (電池を除く)	スピーカー出力	1.8W×2
電源電圧	AC100V 50/60Hz DC12V (単1型乾電池8本使用)	付属品	マイク、マイク接続コード、AV接続コード、AC電源コード、取扱説明書

## 保証書

製品名 <b>DVDラジオカセット KXA-DVC709</b>	
保証期間(お買い上げ日より) <b>1年間</b>	お買い上げ日 年 月 日
お客様	フリガナ お名前 様
	ご住所 〒 -
電話番号 ( ) -	
不具合記入欄	
取扱販売店名・住所・電話番号	
取扱販売店印	

## <持込修理>

DVDラジオカセット KXA-DVC709をご購入頂きありがとうございます。  
当社では優れた品質のアフターサービスを提供することを保証いたします。  
お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

- ①ご購入日から1年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、保証書、購入領収書をご持参頂ければ、当社で無料修理規定に基づき修理または無償で新品と交換いたします。
  - ②取扱説明書に従って操作せずに不当な使い方をしたり、お客様が自分で製品を分解修理するなど人為的に壊されたり、保証期間が切れた場合、無料修理は適用されません。ただしお客様が部品代及び修理費用を負担する場合、修理を承ります。
- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買上げの販売店へお申し出ください。
  - 太枠線内はご購入後、お客様自身でご記入ください。
  - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

前頁の無料保証規定もご覧ください→

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内は…

お客様相談室  
フリーダイヤル **0120-335-625**

受付時間 日曜、祝日除く月曜～土曜 AM9:00～PM6:00

総販売元



株式会社SEEK

〒349-0205 埼玉県南埼玉郡白岡町西8丁目19-8  
support@kk-seek.com